

令和3年度 文学部比較文化学科 一般選抜（中期日程）講評

I

問1

おおむねできていたが、「たまたま」という意味の **happen to** が訳せていない解答が散見された。また、「他のみんなと同じ普通の22歳だ」という意味の **I'm as normal a 22-year-old as anyone** がうまく訳せていない解答も見受けられた。

問2

本問は、「この文章をこれから先に読むとき」という未来の行為が理解できるかどうか、「人間としての成長も続いているであろう」という未来完了形を訳せるかどうかのポイントであったが、未来完了形はよく訳せていた。

piece を「平和」と訳した解答、**evolution** を「革命」と訳した解答がいくらか目についた。

問3

正答は過半数であった。誤答例は **cop, police, the hands of men, Minneapolis, Michael** などである。

問4

おおむねできていたが、「世界がグローバル化したため抗議運動が広がった」という誤答も散見された。

問5

多くの受験生が **I have received racist comments online and even on TV.** としていたが、正解とした。正しくは **racist comments online and even on TV** である。一方で、**racist comments** と核心部分のみを取り出した解答もあったが、解答として不十分であるため減点した。逆に、**I have received racist comments online and even on TV. But that's the minority.** といったように、解答の範囲を広くした答案も減点した。

問6

playground をテニスコート、競技場とした誤訳が散見された。また、**she** が指す人物を大坂なおみとした誤訳もあった。

II

問 1

garment を繊維、生糸、織物、石油、政府の工場などとした場合は減点対象とした。また、数値の説明のため「割合」「パーセント」がない場合も減点とした。

問 2

過半数が正答。しかし、「新しい形態で手洗いというものが始まった」、「精神的な距離がない」、「バスツアーでは仕事にならない」などの誤答があった。

問 3

正解は the garment factory owners である。owners や factory owners のみを記載した答案は減点した。また、owners は必ず取りださねばならないので、garment factory や factory という答案は無得点とした。

問 4

the country's single biggest revenue generator を理解できているかどうかを鍵であるが、以下の単語の意味を理解していない答案が思いのほか散見された。

- garment industry の garment を「政府」(government) や「ドイツの」(German) と誤解した解答
- billion や million の意味を理解していない解答
- factory を「会社」と誤訳した解答

問 5

on 以下の語句が書かれていない、主文 (the chain has requested) まで抜き出している、冠詞が抜けているなど、全文を正しく抜き出している正答は半分以下であった。また、設問が「英語でそのまま」と書かれているにもかかわらず、日本語に訳して解答する受験生が数名いた。

問 6

order を「注問」、instead を「代わりに」とした誤字に加えて、工場 (factories) を「会社」と訳したり、カンボジア (Cambodia) を「コロンビア」と訳したりする解答も思いのほか目立った。また、to prevent orders going to factories in Vietnam or Cambodia instead の“prevent” がうまく訳出できていない解答や、“order” の意味を取れていない解答も見受けられた。さらに、back in operation を「手術から帰ってきた」とした誤答も散見された。

問 7

本問のポイントは putting the lives of ... in grave danger を的確に理解できているかどうかであるが、「重大な」という形容詞で用いられている grave を名詞の「墓」と理解したために、「墓送り

にする」と誤訳した解答がいくつか見受けられた。なお、「何十万・数十万」を意味する **hundreds of thousands of** はほとんどが訳出できていなかった。

問 8

ア) は、感染の恐怖を感じていたり、それゆえに仕事に戻りたくないと思っているが仕事に戻らねばならないという、不本意ながらそうせざるを得ないという状況を理解できるかどうかのポイントであり、正答率は高かった。

イ) は、工場が操業可能であることを世界の企業に示す必要があること、そうしないと注文が他国の工場に奪われること、そうすると結果的にバングラデシュの工場従業員は仕事を失うことの3点がポイントである。また、従業員は工場の上司からそう言われて仕事に戻らざるを得ないという状況にある。

問題文を読むと、国外企業からの受注を受ける縫製産業がバングラデシュの経済を支えていることが示されており、それゆえ工場が操業可能であることを国外に向けて示すことが肝要であると工場は考えているのであり、単に「工場が閉まっている」と注文が他国に奪われるというだけでは不十分であり、減点した。

注文が他国に奪われると、工場が経営不能になり結果的に従業員が仕事を失うことになることを従業員は恐れているのであり、工場が注文を失うとだけ解答した答案も減点対象とした。